

テレビ番組分析手法の精緻化へ向けて — 平和式典と長崎くんち —

森 田 均

Proposal of Analysis Method for the TV Program revisit
- The Peace Ceremony and Nagasaki Kunchi Festival -

Hitoshi MORITA

Abstract: This thesis reexamines the method of the proposal of last year by using abundant concrete examples. The method has clarified the identity frequency of the event and the TV programming according to F-measure. F-measure is a value obtained from a multiple average of accuracy and the reproduction rate.

1. はじめに

この論文は、新聞に掲載された番組表によってテレビ番組の過去を遡る通時的な軸と、地上波テレビ放送を終日録画した番組データによって同日各地の差異を把握する共時的な軸を併用することでローカル放送における番組編成の地域的な差異を把握できるという作業仮説を実証した[森田 07b]に続いてテレビ番組の新たな分析手法を提案した[森田 08]における成果を再検討するものである。

まず[森田 07b]に引き続き、[森田 08]で報告したデータに訂正と追加を行う。続いて提案した分析手法を精緻化する試みを行う。今回も、「戦争と原爆の記憶に関するテレビ・メディア環境の多面的内容分析研究」(日本学術振興会科学研究費平成19~21年度挑戦的萌芽研究, 研究代表者: 杉山あかし)のプロジェクトにおいて8月1日から15日まで地上波テレビ放送(NHK総合+民放4系列)を全日録画した成果を反映させる。なお、2009(平成21)年は機材設置環境が整わなかったため録画地点は長崎と東京のみである。長崎は上記期間に加えて8月16日から31日まで延長して録画を行っている。アナログ放送の終了を間近に控えて、現有機材の限界を検証することが目的であった。この延長措置によって得られた知見は論文末尾で検討する。文中で言及する図及び表は、全て末尾にまとめて掲載した。

なお、表1~表16において使用されている記号及びセルの罫線(太枠や二重線など)、フォント(太字や斜体)による表現については、本論文で明記されていない場合には[森田 07b][森田 08]を参照されたい。参考文献に関しても同様である。

2. 研究手法

本論文は、まず番組放送時間の推移を把握するために朝日新聞(東京本社版)、中国新聞、西日本新聞、長崎新聞の朝刊掲載テレビ番組欄を使用した。夕刊を発行していない新聞は当日付のものである。

新聞のラジオ・テレビ番組欄については、既に[森田 08]でその構成の推移について述べているが、朝日新聞東京本社版の8月9日付紙面に基づいて略図を作成し改めて図1に示した。略図中では、ラジオ番組表を破線でテレビ番組表は二重線で表した。ラジオ放送の番組表は、放送事業者がNHKのみであった1947(昭和22)年には「進駐軍向」と明記されたWVTRを併記して紙面右下に配置されている。民放ラジオ局が開局してチャンネル数が増えた1953(昭和28)年には左中ほどに位置を移している。この年に本放送を開始したテレビ放送の番組表は、ラジオの欄外のような扱いである。その下に記された記事では日本テレビ放送網が放送開始に向けてアンテナの取り付けを完了した旨が報じられている。テレビ番組欄は、1954(昭和29)年に別枠となり、一年後の1955(昭和30)年にラジオとテレビの枠が横並びとなった。テレビが午前中も放送を始めた1957(昭和32)年にはテレビの番組表にも時間枠が付けられるようになった。テレビが全日放送となった1959(昭和34)年にはラジオの番組表と同程度の掲載面積となる。そして1961(昭和36)年には位置が入れ替わってテレビ番組表がラジオ番組表の上部に掲載されるようになった。現在のテレビ・ラジオ欄のようにラジオとテレビの掲載面が分離された1986(昭和61)年である。

新聞のテレビ番組欄に関する資料としては、報知新聞とスポーツニッポンの紙面を使用して1975(昭和50)年から1990(平成2)年までの4月及び10月の第二週をそのまま再現した[テレビ欄研究会 09a]がある。同書によると、番組改編期でしかも特別番組などが多い第一週を避けたために上記のような期間を設定したとのことである。続く[テレビ欄研究会 09b]では1991(平成3)年から2005(平成17)年までの同期間と正月の番組表を収録している。また[テレビ欄研究会 09c]は、1954(昭和29)年から1974(昭和49)年までだが、このうち4月及び10月の第二週が収録されているのは1961(昭和36)年以降で、上述した新聞のラジオ・テレビ欄構成の変化に呼応している。なお、10月第二週には後述する長崎くんちの中日、後日にあたる8日や9日も含まれているので補強資料としても役立てることが出来た。

次に、番組録画の方法について。2007(平成19)年に3ヵ年の予定で開始した際には、WindowsXPをOSとするパーソナルコンピュータに2チャンネル同時にキャプチャ可能なチューナー・ボードを3基搭載した機材を準備した。録画する媒体はRAIDにより1.3TBの容量とした内蔵HDDである。これによって地上波のうちNHK総合放送、民放4系統、場合によってはNHKのBS放送あるいは教育テレビを加えて計6チャンネル分を同時に録画可能とした。さらに同様の仕様としたコンピュータを2台稼働させ、落雷や停電による不慮の稼働停止に備えた。アナログ放送の録画であるために、MP4の圧縮形式によって1日分の占有容量は約40~50GBとなる。

MP4の場合、1ヵ月分がほぼ内蔵HDDの容量に匹敵する。データの分析にあたっては外部ディスクへの複写を余儀なくされるが、1.5TBあるいは2TBのHDDが2年前と比較して非常に廉価となっているので、冒頭に述べたように1ヶ月連続録画へと踏み出すことが出来た。MP4はこのようにデータ容量の節約には大いに役立ち、録画した番組をデータとして携帯したり他のコンピュータで分析したりする場合に有用であった。一方で画質は非常に劣る。さらに動画ファイルとしては破損しやすいものとなる。録画時点における破損によって、結果としては特定の時間帯は録画できなかったケースも頻繁に発生した。

これに対してMP2まで圧縮を緩和させると、当然のことながら画質は向上し、データとしての強度も増す。これに従ってデータ容量は大きく膨れ上がる。目安として1日分のデータ容量は、300～350GBであった。2009（平成21）年の録画作業にあたっては、2台のコンピュータをそれぞれMP4、MP2に設定した。MP2の設定としたコンピュータは4日に一度は録画データを吸い出す作業が必要となった。こうした一連の作業によって3ヵ年分のデータ収集作業を無事に終了させることが出来た。

3. 平和式典関連データの訂正と追加

表1並びに表2は「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」中継番組の放送時間の推移をまとめたものである。表1が広島県域を放送対象地域とするテレビ局のもので、左から開局順に記した。表中で各テレビ局をこのように配置することによって、当該放送対象地域におけるチャンネル数の推移を示すことができる。特に本論文及び[森田 07b][森田 08]のように同一コンテンツを各テレビ局が同一の時間帯で放送するようなケースを検討対象とする場合には有効な表記方法と考えられる。表1の時間帯におけるコンテンツとは、毎年8月6日に広島市の平和記念公園で午前8時から8時45分に開催される式典である。

朝日新聞、西日本新聞、長崎新聞の2009（平成21）年8月6日付朝刊テレビ番組欄に記載されたNHK総合放送の式典中継番組放送時間は、午前8時00分から8時35分であった。一方で中国新聞は、午前8時00分から8時50分であった。新聞紙面から読み取ることができるのは、東京・福岡・長崎とは異なり広島においては式典開催時間を全てカバーする放送時間が設定されていたということである。

2007（平成19）年以降は視認し、録画出来ているが、同式典の模様を中継するNHKの番組は、新聞等に掲載された放送終了予定時刻の8時35分に近づくと、次の番組を「8時37分から放送します」という内容のテロップが付されるようになる。これは2008（平成20）年に引き続き2009（平成21）年も同様であった。式典の進行上、8時35分前後は内閣総理大臣の挨拶が行われている。NHKは、予定の放送時間ではなく式典の進行に従って、番組を変更したと考えられるが、必ずしも式典そのものの完全中継を意図したものではないと考えられる。放送時間は延長されたが首相挨拶の後は映像が式典会場から離れている。前述したように2009（平成21）年は広島において番組録画が実行できなかったため、地上波放送の番組内容から分析することは不可能となった。しかしながら、広島での式典はNHK-BS2でも特別番組として中継されている。2009（平成21）年は予めこうした放送時間の異動などから検証方法としてこのBS2の番組を分析することとし、録画設定を済ませておいた。BS2の番組は、長崎における地上波NHK総合放送と8時37分まで同一内容であった。総合放送の特別番組が37分に終了した後は、平和式典会場付近からゲストへのインタビューが始まった。この内容が広島における地上波の特別番組と同一であるか否かは検証できていないが、少なくとも広島での式典に関してはNHKの全国放送による特別番組において首相挨拶以降の内容は中継されていない。[森田 07b][森田 08]でも述べたように、広島平和記念式典は広島地域でのテレビ放送開始直後から全国中継されていたが、時間的には前半三分の二の範囲で中断となっているということになる。表2は、広島における平和式典が長崎ではどのように放送されているのか把握するために作成したものである。広島と同じ民放ネット系列に相当するように民放局を配置した。長崎では、広島での式典を主にNHKの全国放送によって視聴して来たことが分る。

表3は、長崎県域の放送事業者を左から開局順に並べて「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」中継

番組の放送時間の推移をまとめたものである。2009(平成21)年8月9日は、日曜日であった。この日、長崎文化放送(NCC)は全国番組の「サンデープロジェクト」を午前10時00分から11時45分まで放送した。表3に記したようにNCCは8月9日が日曜日となった1992(平成4)年、1998(平成10)年にも平和祈念式典中継の特別番組を放送していない。一方で1997(平成9)年、2003(平成15)年2008(平成20)年は土曜日でも特別番組を放送している。これらの事実から、同局の編成方針として8月9日が日曜日となった場合には平和祈念式典の中継特番は放送しないということになっていると考えられる。なお、2009(平成21)年8月9日午前11時02分に「サンデープロジェクト」は番組中で映像を平和祈念式典の会場に切り替えて、スタジオ内でも黙祷を行っていた。民放局の全国ネットで黙祷が同時中継となったのは、この番組のみである。なお、表4は表1及び表2との対比を行うために広島における長崎式典中継番組の実情を示すために作成したものである。

4. 長崎平和祈念式典の内容分析(その1)

既に述べたように2009(平成21)年8月9日は、日曜日であった。テレビの番組編成では、一般に月～金曜日と比較してニュースが番組数、放送時間ともに少なくなる土曜日よりもさらに少なくなる。2008(平成20)年の場合は、北京オリンピックの開会式翌日であったために五輪カラーが強くなった。2009(平成21)年は、芸能人による覚醒剤犯罪や大雨関連のニュースが常にトップの扱いとなっていた。NHKの夜「7時のニュース」では6日の広島同様に2番目の 이슈として取り上げられていた。ちなみに8月6日は、初の裁判員裁判関連ニュースがトップであった。

2008(平成20)年に引き続き、最初の内容分析として、式典終了後のニュース番組における取り扱いを検討する。表5は、2009(平成21)年8月9日式典後における長崎放送(NBC)のニュース番組内容から式典関係の 이슈を抜粋して分析したものである。この日の式典関連ニュース素材はA, B, Cの3種類であった。そのうち式典ダイジェストを含むAは、全てのニュース番組で使用されている。BはAに平和市長会議の模様を加えたものである。また、CはBに麻生首相(当事)と被爆者団体との面談が加えられている。

[森田 08]において2007(平成19)年8月9日の長崎放送(NBC)のニュース番組内容の分析を行った。その際に筆者は、キー局側とローカル局側の双方で取材したものが縦横に活用されており、JNN系列のニュース・ネットワークが有機的に機能していることを高く評価した。ところが、2009(平成21)年は時間的経過とともに既に使用した素材に付け足していくような手法が取られていたようである。ニュースは日曜日になると放送時間や番組数のみならず取材や制作においても手薄になるものなのであろうか。この点に関してはここで結論を導くことは拙速であり、さらに来年以降の実情を分析する必要がある。

表6は、テレビ長崎(KTN)の2009(平成21)年8月9日である。式典直後の全国ニュースで使用されたAのダイジェストは、以降全国ニュースで使用されている。長崎ローカルのニュースでは、BとしてAに式典前の様子やインタビューなどを加えたもの、CとしてBに麻生首相(当事)が広島式典の後に発言した「核の傘」を長崎の被爆者団体との面談の席上でも撤回せず、という内容を加えたものが使用された。また、同局は以下のような文言でニュースを締め括っている。「長崎は今日一日、深い鎮魂の祈りに包まれます(KTNテレニュース)」「あれから64回目の夏、長崎はこれから鎮魂の夜を迎えます(スーパーニュース長崎)」「あの日から64回目の夏、長崎はこれから鎮魂の夜が静かにふけて行きます(KTNニュース)」KTNのローカル・ニュース

にはこのような特徴を見出すことができた。

表5や表6のようにまとめてはいないが、長崎国際放送（NIB）は式典以降深夜に及ぶまで全国ニュース3番組、長崎ローカル・ニュース3番組で平和式典関連ニュースを取り上げていた。KTNと異なるのは首相発言への言及が全く見られなかったことである。なお、同局に関しては[森田 08]において2007（平成19）年が木曜日と平日でありながらキー局の主要なニュース番組「NEWS ZERO」で式典関連ニュースが無かったことを指摘した。同番組は2009（平成21）年にキャスターを務める男性アイドルを式典に参加させ、その模様や式典後に被爆者や平和運動を担う若者と語り合う様子をNIBのローカル・ニュースで紹介し、番組内で特集を組むなどの対応を行っていた。また、長崎文化放送（NCC）に関しては、全国ニュース2番組、長崎ローカル・ニュース1番組で採り上げるのみであり、時間帯として18時以降のニュース番組での言及が無くなる。同局の特徴は、甲子園出場の長崎日大高校野球部の選手も黙祷をしている様子をローカル・ニュースで伝えたことであった。

5．長崎平和祈念式典の内容分析（その2）

表7にまとめたのは、番組がどこまで式典を忠実に中継しているか数値によって比較する試みに経年の推移を加えたものである。

2009（平成21）年においては、式次第に従って式典のシーン（場面）の総数を14と定める。式次第には12項目が掲載されているが、実際には「来賓挨拶」が内閣総理大臣と長崎県知事、それに2009（平成21）年は国連総会議長によって行われていることから別項目とした。このために2007（平成19）年及び2008（平成20）年と2009（平成21）年では式典次第の項目数が異なっているのである。[森田 08]における手法を踏襲して、この式典本来のシーンを各局の番組がどの程度中継しているのか、一致するシーン数を求める。各局番組のシーン総数は、放送開始・放送終了時刻から式次第に従って算定する。以上のような数値化を行った結果、表7では2007（平成19）年から3ヵ年に渡って8月9日に放送された番組を比較することができる。

2009（平成21）年の式典中継において最も高いF値0.75を示したのは、長崎放送（NBC）であった。精度が0.90と極めて高い数値となっているが、一方で再現率は0.64と平凡な結果となっている。ここで表8を加えて検討を行う。これによると、NBCの番組は式典の終盤三分の一について時間帯の制約から全く中継できていない。NBCの場合は、表10にあるように2007（平成19）年と同じような傾向となっている。これは2008（平成20）年の中継番組が、北京オリンピック開会式関連の全国ニュースのために中断されるという事態があったためである。

2009（平成21）年に長崎放送（NBC）に次ぐF値0.62を示したのは、テレビ長崎（KTN）であった。同局は、2008（平成20）年には前年よりも再現率を大幅に向上させてF値を0.80としている。同局に関しても表7と表8、表9、表10を参照しながら検討してみよう。テレビ長崎（KTN）が2007（平成19）年のF値0.55から2008（平成20）年の同0.80と数値を向上させたのは、放送時間が終盤に向けて延長したことが最大の要因と考えられる。そして、終盤部分の中継を式典に忠実にやっていることが表8からも明らかになる。

表8、表9、表10において網掛けとしたのは、式典本来の発話に番組独自の音声や映像が重なったシーンであることを示す。また各シーンで手話通訳の映像や字幕が画面ワイプによって併用された場合には「手話」「字幕」と明記した。国連総会議長挨拶ではNHKが同時通訳を行ったので「通訳」と記した。3年間の番組収録によって把握することができた共通点は、以下の通りである。まず、式典最後の「閉会」は全ての局が中継していない。次に長崎市議会議長による「式

辞」を完全に中継するのは長崎放送（NBC）のみである。一方で長崎市長による「平和宣言」は、全ての局が必ず中継している。表8、表9及び表10で「」印を付したのは、同一シーンのうち最も忠実に式典を中継したと考えられるものである。[森田 08]と同様に、音声や映像が極力式典本来のものとなっていること、手話や字幕が用いられていることなどを判断基準とした。この「」印のシーンを連結させることによってテレビ番組から最も忠実な式典の記録映像を得ることも可能となる。

6．長崎くんち

長崎くんちに関しては、昨年同様に録画データを得てから論文執筆までに時間的余裕が無いことから、引き続き内容分析に代わり、放送時間に関する検討を行った。

表11は、長崎くんち中継番組放送時間の推移をまとめたものである。表11から明らかなように2009（平成21）年は、2008（平成20）年と同様に4局が長崎くんちの中継特別番組を放送した。長崎国際放送（NIB）は、別の全国番組を放送し諏訪神社からの同時中継を行っていない。

表12は、「長崎くんち奉納踊り」中継番組の放送時間と10月7日の総放送時間に対する占有率を各局別に2007（平成19）年から2009（平成21）年までの推移を明確にして示したものである。予定時間を延長したために、2009年の中継時間はNHKが215分と最長であった。一方で占有率は長崎放送（NBC）が15.81%でトップとなっている。2008年の中継時間と占有率の首位が入れ替わった形になった。2009（平成21）年は踊町が6か町と2008（平成20）年よりも少ないことが中継時間の設定に影響したことも考えられる。また表15に記したように、長崎放送（NBC）は中継番組直後に奉納踊りダイジェストの特番を放送している。

表13には各放送局が長崎くんち奉納踊りを同時中継している模様をプロットした。セルに色が付いた時刻は中継を行っている。白地としたのは、CMもしくはゲストの紹介などで明らかに奉納踊りから乖離した内容となった時刻である。前述したように2009（平成21）年においては、長崎地域の地上波テレビ放送が同一コンテンツとなる瞬間が無かった。

続いて表14は、同日夕刻のローカル・ニュースの時間帯をプロットしたものである。NHKはローカル・ニュースを放送している総合チャンネルに代えている。夕方の時間帯のニュース番組はスタート時間が18時00分の長崎放送（NBC）、18時10分のHNK総合、同10分代後半のテレビ長崎（KTN）、同20分代後半の長崎文化放送（NCC）と長崎国際放送（NIB）となっている。2008（平成20）年と異なるのは、NBCの時間帯変更によって大きくばらつくようになっていることである。これによって、18時27分44秒から18時27分57秒まで録画などによるもので素材は異なるが、4局は同一コンテンツとなっていた。しかしながら、夕刻にも5局同一コンテンツとなる瞬間は無かった。

7．列福式中継

2008（平成20）年11月24日に長崎市においてキリスト教禁教時代の殉教者を聖人に次ぐ福者に叙するカトリックの列福式が行われた。ローマ教皇使節が列席する日本初の儀式であることから、実況中継が行われ、ローカル及び全国放送のニュース番組で報道された。テレビ番組録画システムと研究手法は、平和祈念式典や長崎くんちのみならず様々な対象に応用可能であることを明らかにするため、このイベントも関連番組の録画作業を行った。

放送状況について分析をまとめたものが表16である。このイベントの場合は、同時中継がテレ

び放送ではなくインターネットの動画配信によって行われた。ネット配信は、CMによる中断がなくなるなど番組制作上の制限が緩和され、加えてローカル局発であっても放送とは異なり放送対象地域のみならずインターネットに接続可能ならば国内外を問わず視聴可能となり、到達範囲が圧倒的に広がる。一方で、国民の休日にあたるためにテレビ放送番組の編成フォーマットが平日とは異なっていることも要因と考えられるが、ローカルでは夕方のニュースで全局が取り上げたものの、全国ニュースでは2局のみであった。

ネット配信を担ったのは、式典の設営進行を請け負ったKTNソサエティであった。名称から明らかのようにテレビ長崎（KTN）の関連会社である。配信はストリーミング方式であったが、後日ダイジェスト版及びテレビ長崎（KTN）による特別番組[KTN 08]を収録したDVD[KTN ソサエティ 09]を一般に販売した。これらの他に列福式関連の番組としては式典当日から1ヵ月余り後に全国放送された[NHK 08]があった。

8.まとめと展望

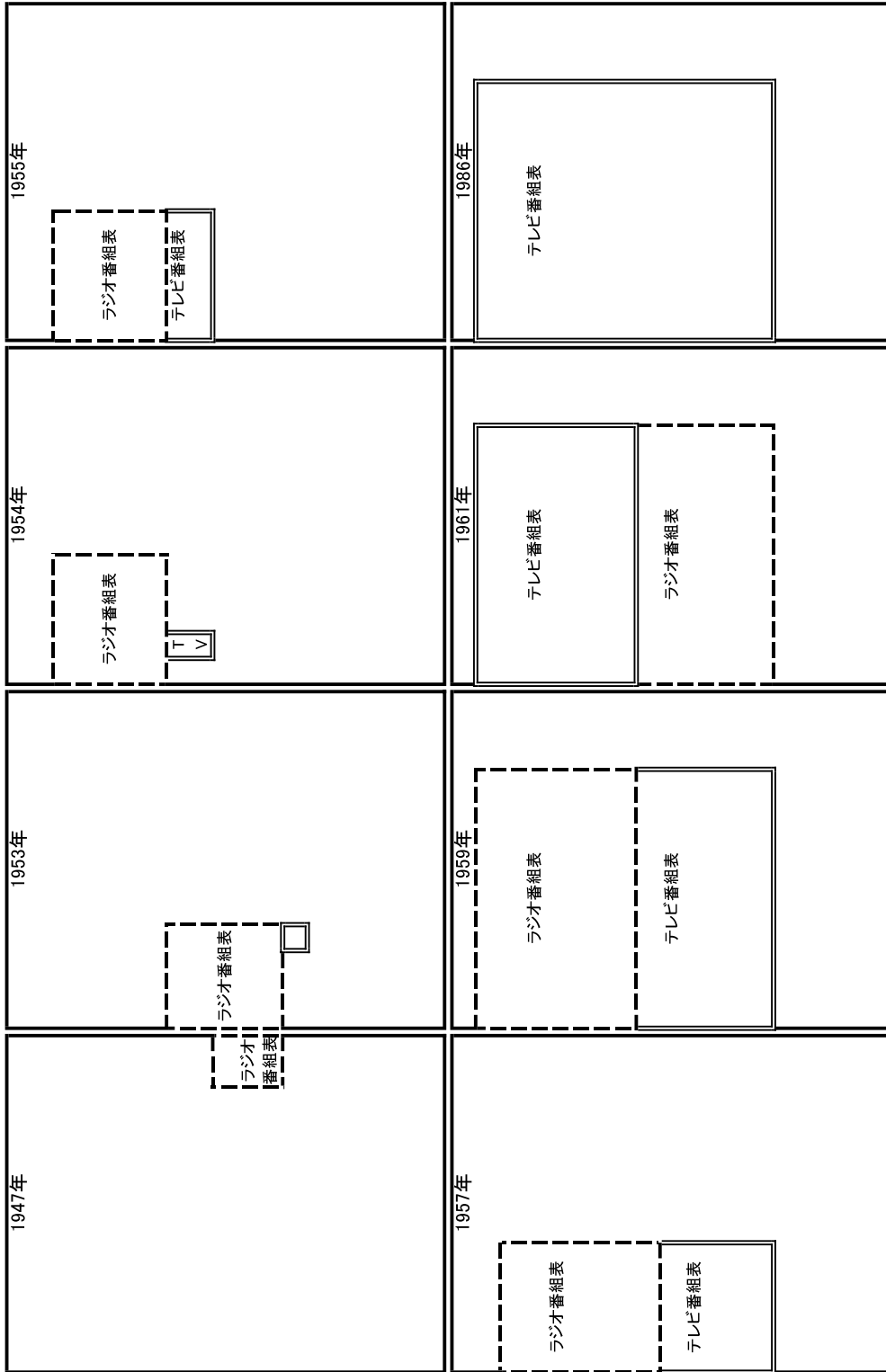
本論文は2009（平成21）年に録画した番組を含めて速報値としての報告と、[森田 07b][森田 08]の補完と訂正を含めたものであった。いくつかの提案を行った内容分析の方法については、データを加えて再検討を行った。それでは、こうした圧倒的な事実の蓄積からどのような知見を引き出すことが出来るだろうか。今後は、メディアテキストを含むテキストと実世界との接点からモデルを設定して検討する予定である。

参 考 文 献

- [藤田 06] 藤田真文：ギフト、再配達 テレビ・テキスト分析入門，せりか書房，2006.
- [Gerbner & Gross 76] George Gerbner & Larry Gross: Living With Television: The Violence Profile, *Journal of Communication* 26, pp.173-199, 1976. Reprinted in Michael Morgan (ed.), *Against the Mainstream: The Selected Works of George Gerbner*, Peter Lang Publishing, 2002.
- [岩男 00] 岩男寿美子：テレビドラマのメッセージ - 社会心理学的分析，勁草書房，2000.
- [鎌田 02] 鎌田慧：地方紙の研究，潮出版社，2002.
- [川島・貴志08] 川島真，貴志俊彦・編：資料で読む世界の8月15日，山川出版社，2008.
- [KTN 08] KTN：“絆”～遠い日の家族たち～，KTN，2008年12月12日放送.
- [KTNソサエティ 09] KTNソサエティ：ペトロ岐部と187殉教者列福式，KTNソサエティ，2009.
- [栗林 08] 栗林輝夫：原子爆弾とキリスト教 広島・長崎は「しょうがない」か？，日本キリスト教団出版局，2008.
- [久留島・原田 06] 久留島浩・原田博二：秘蔵！長崎くんち絵巻 大阪府立中之島図書館所蔵絵巻 崎陽諏訪明神祭祀図，長崎文献社，2006.
- [森 08] 森達也：それでもドキュメンタリーは嘘をつく，角川書店，2008.
- [森田 00] 森田均：小さなメディアの大きな変容，新・調査情報23号（株式会社東京放送），pp.46-51，2000.
- [森田 01] 森田均：コミュニティ放送局のインターネット利用，マス・コミュニケーション研究 第59号，日本マス・コミュニケーション学会，pp.178-192，2001.

- [森田 06] 森田均: 長崎コンテンツのメディア論的研究と資料デジタル化予備調査 - 天正時代の活版印刷と甲子夜話のハイパーテキスト化 - , 県立長崎シーボルト大学「教育研究高度化推進費B」に係る研究報告書, pp.397-410, 2006.
- [森田 07a] 森田均: 生成のための修辞, 認知科学13(4), 日本認知科学会, pp.566-570, 2007.
- [森田 07b] 森田均: テレビ番組としての平和式典と長崎くんち, 国際情報学部紀要第8号, 県立長崎シーボルト大学, pp.139-154, 2007.
- [森田 08] 森田均: 平和式典と長崎くんち - テレビ番組分析手法の提案 - , 国際情報学部研究紀要第9号, 長崎県立大学, pp.129-142, 2008.
- [長崎放送 02] 長崎放送株式会社・編: 長崎放送50年史, 長崎放送株式会社, 2002.
- [長崎新聞 01] 長崎新聞社社史編纂委員会・編: 激動を伝えて一世紀 長崎新聞社史, 長崎新聞社, 2001.
- [西別府・岩男 04] 西別府厚子・岩男寿美子: テレビドラマの社会心理学的研究, 武蔵工業大学環境情報学部紀要第7号, pp.79-89, 2004.
- [NHK 08] NHK: ETV特集 知られざる殉教者 ~ペトロ岐部を描く~, NHK, 2008年12月28日放送.
- [NHK文研 03a] NHK放送文化研究所・編: 20世紀放送史 資料編, 日本放送出版協会, 2003.
- [NHK文研 03b] NHK放送文化研究所・編: テレビ視聴の50年史, 日本放送出版協会, 2003.
- [NHK長崎 84] NHK長崎放送局50年史編集委員会・編: NHK長崎放送局50年史, NHK長崎放送局, 1984.
- [NHK出版 03] 日本放送出版協会・編: ヒロシマはどう記録されたか NHKと中国新聞の原爆報道, 日本放送出版協会, 2003.
- [佐藤 05] 佐藤卓己: 八月十五日の神話 終戦記念日のメディア学, 筑摩書房, 2005.
- [東大新聞研 83] 東京大学新聞研究所・編: テレビ・ロ・カル放送の実態 岩手県の場合, 東京大学出版会, 1983.
- [東大新聞研 84] 東京大学新聞研究所・編: 広域圏におけるテレビ・ロ・カル放送 テレビ・ロ・カル放送の実態「神奈川県・和歌山県」, 東京大学出版会, 1984.
- [東京放送 02] 株式会社東京放送・編: TBS50年史, 株式会社東京放送, 2002.
- [テレビ欄研究会 09a] テレビ欄研究会・編著: ザ・テレビ欄 1975-1990, TOブックス, 2009.
- [テレビ欄研究会 09b] テレビ欄研究会・編著: ザ・テレビ欄II 1991-2005, TOブックス, 2009.
- [テレビ欄研究会 09c] テレビ欄研究会・編著: ザ・テレビ欄0 1954-1974, TOブックス, 2009.
- [徳永 99] 徳永健伸: 情報検索と言語処理, 東京大学出版会, 1999.

付記: 本論文は, 平成19~21年度日本学術振興会科学研究費(挑戦的萌芽研究)補助金(課題番号: 19653046)及び平成21~23年度日本学術振興会科学研究費(挑戦的萌芽研究)補助金(課題番号: 21653042)による研究成果の一部である。



〈図1：新聞紙面におけるラジオ・テレビ番組欄構成の推移〉

＜表2：広島平和記念式典中継番組放送時間の推移(長崎)＞

西暦	元号	曜	NHK長崎 (1958.12.23)	NBC長崎放送 (1958.1.1)	NIB長崎国際放送 (1991.4.1)	NCC長崎文化放送 (1990.4.1)	KTNテレビ長崎 (1969.4.1)
1957	昭和32	火					
1958	33	水					
1959	34	木	8:00	8:25			
1960	35	土	8:00	8:30			
1961	36	日	8:11	8:17			
1962	37	月					
1963	38	火					
1964	39	水	8:10	8:20			
1965	40	木	8:10	8:20			
1966	41	金	7:35	8:18			
1967	42	日	8:10	8:20			
1968	43	火	8:05	8:25			
1969	44	水	8:05	8:25			
1970	45	木	7:57	8:25			
1971	46	金	7:57	8:30	6:50		
1972	47	日	8:00	8:25			
1973	48	月	8:00	8:15			
1974	49	火	8:00	8:15			
1975	50	水	8:00	8:25			
1976	51	木	8:00	8:30			
1977	52	土	8:00	8:30			
1978	53	日	8:00	8:30			
1979	54	月	8:00	8:25			
1980	55	水	8:00	8:25			
1981	56	木	8:00	8:30			
1982	57	金	8:00	8:25	7:00	8:10	
1983	58	土	8:00	8:35			
1984	59	日	8:00	8:25			
1985	60	火	8:00	8:15	7:00	8:00	
1986	61	水	8:00	8:25	7:00	8:00	
1987	62	木	8:00	8:30	7:00	8:30	
1988	63	土	8:00	8:30			
1989	平成元	日	8:00	8:30	8:30	10:00	
1990	2	月	7:58	8:30			
1991	3	火	8:00	8:30	8:00	8:30	
1992	4	水	8:00	8:30	8:00	8:30	
1993	5	木	8:00	8:30	8:00	8:30	
1994	6	土	8:00	8:30	8:00	8:30	
1995	7	日	8:00	8:35	8:00	10:00	8:30
1996	8	火	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
1997	9	水	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
1998	10	木	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
1999	11	金	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2000	12	日	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2001	13	月	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2002	14	火	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2003	15	水	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2004	16	木	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2005	17	金	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2006	18	日	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2007	19	月	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2008	20	水	8:00	8:35	8:00	8:30	8:00
2009	21	木	8:00	8:37			
2008	20	水	8:00	8:37			
2009	21	木	8:00	8:37			

＜表1：広島平和記念式典中継番組放送時間の推移(広島)＞

西暦	元号	曜	NHK広島 (1956.3.21)	RCC中国放送 (1959.4.1)	HTV広島テレビ (1962.9.1)	HOME広島ホームテレビ (1970.12.1)	TSSテレビ新広島 (1975.10.1)
1957	昭和32	火					
1958	33	水	7:55	8:25			
1959	34	木	8:00	8:25	8:30		
1960	35	土	8:00	8:30	7:58	8:40	
1961	36	日	8:10	8:17	8:00	8:30	
1962	37	月			8:00	8:20	
1963	38	火			8:00	8:20	
1964	39	水	8:10	8:30	8:05	8:30	8:35
1965	40	木	8:10	8:20	8:00	8:30	7:50
1966	41	金	7:35	8:12	8:00	8:20	8:30
1967	42	日	8:10	8:20	8:00	8:30	8:30
1968	43	火	8:05	8:25	8:00	8:30	8:00
1969	44	水	8:05	8:25	8:00	8:30	8:00
1970	45	木	7:57	8:25	8:00	8:30	8:30
1971	46	金	7:57	8:30	7:59	8:30	8:00
1972	47	日	8:00	8:35	8:00	8:30	8:30
1973	48	月	8:00	8:25	8:00	8:30	8:30
1974	49	火	8:00	8:25	8:00	8:30	8:30
1975	50	水	8:00	8:25	8:00	8:30	8:30
1976	51	木	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
1977	52	土	8:00	8:00	8:30	7:45	8:30
1978	53	日	8:00	8:25	8:00	8:30	8:25
1979	54	月	8:00	8:25	8:00	8:30	8:30
1980	55	水	8:00	8:35	8:00	8:30	8:30
1981	56	木	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
1982	57	金	8:00	8:25	8:00	8:30	8:30
1983	58	土	8:00	8:28	8:00	8:30	8:30
1984	59	日	8:00	8:25	8:00	8:30	8:30
1985	60	火	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
1986	61	水	8:00	8:25	8:00	8:30	8:30
1987	62	木	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
1988	63	土	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
1989	平成元	日	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
1990	2	月	7:58	8:30	8:00	8:30	8:30
1991	3	火	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
1992	4	水	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
1993	5	木	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
1994	6	土	8:00	8:30	7:59	8:30	8:30
1995	7	日	8:00	8:35	8:00	9:55	7:45
1996	8	火	8:00	8:35	8:00	8:30	7:00
1997	9	水	8:00	8:35	8:00	8:30	7:58
1998	10	木	8:00	8:35	7:45	8:30	7:59
1999	11	金	8:00	8:35	7:45	8:30	7:59
2000	12	日	8:00	8:35	8:00	9:00	7:59
2001	13	月	8:00	8:35	8:00	9:00	7:57
2002	14	火	8:00	8:35	7:49	8:30	7:57
2003	15	水	8:00	8:35	7:45	8:30	7:57
2004	16	木	8:00	8:35	7:27	8:30	7:57
2005	17	金	8:00	8:35	8:00	8:30	7:57
2006	18	日	8:00	8:35	8:00	8:30	7:59
2007	19	月	8:00	8:37	7:45	8:30	7:59
2008	20	水	8:00	8:30	8:00	8:30	8:30
2009	21	木	8:00	8:30	7:45	8:30	8:30

<表4:長崎平和記念式中継番組放送時間の推移(広島)>

西暦	元号	曜	NHK広島 (1956.3.21)	RCG中国放送 (1953.4.1)	TSSテレビ新広島 (1973.12.1)	HOME広島ホームテレビ (1970.12.1)	HTV広島テレビ (1962.8.1)
1957	昭和32	金					
1958	33	土					
1959	34	日					
1960	35	火					
1961	36	水					
1962	37	木					
1963	38	金					
1964	39	日					
1965	40	月					
1966	41	火					9:00 10:30
1967	42	水					
1968	43	金					
1969	44	土					9:00 10:30
1970	45	日					
1971	46	月		6:50	9:55		9:00 10:30
1972	47	火					9:00 10:30
1973	48	水					9:00 10:30
1974	49	金					
1975	50	土					
1976	51	日					
1977	52	火					
1978	53	水					
1979	54	木					
1980	55	土					
1981	56	日					
1982	57	月					
1983	58	火					
1984	59	水					
1985	60	金					
1986	61	土					
1987	62	日					
1988	63	火					
1989	平成元	水					
1990	2	木					
1991	3	金					
1992	4	日					
1993	5	月					
1994	6	火					
1995	7	水					
1996	8	金					+11:00 +11:30
1997	9	土					
1998	10	日					
1999	11	月					
2000	12	水					
2001	13	木					
2002	14	金					
2003	15	土					
2004	16	日					
2005	17	火					
2006	18	水					
2007	19	木					
2008	20	土					
2009	21	日					

<表3:長崎平和記念式中継番組放送時間の推移(長崎)>

西暦	元号	曜	NHK長崎 (1958.12.23)	NBC長崎放送 (1959.1.1)	KTビエ長崎 (1969.3.1)	RCG長崎文化放送 (1969.4.1)	NIB長崎国際放送 (1991.4.1)
1957	昭和32	金					
1958	33	土					
1959	34	日		10:40	11:00		
1960	35	火					
1961	36	水					
1962	37	木					
1963	38	金		10:45	11:55		
1964	39	日		11:00	12:00		
1965	40	月		10:55	11:55		
1966	41	火		11:00	11:45		
1967	42	水		10:33	11:05		
1968	43	金		10:30	11:05		
1969	44	土		10:35	11:00		
1970	45	日	11:00	12:00	11:00	12:00	9:00 10:30
1971	46	月		10:30	11:25	10:45	11:30
1972	47	火		10:29	11:20	10:45	11:30
1973	48	水		10:45	11:15	10:45	11:30
1974	49	金	10:50	12:00	10:45	11:15	
1975	50	土	10:50	12:00	10:40	11:40	10:45 11:30
1976	51	日	10:55	11:05	10:55	11:30	11:25
1977	52	火	10:55	12:00	10:55	11:45	10:30 11:30
1978	53	水	10:55	12:00	10:52	11:30	11:00 11:30
1979	54	木	10:50	11:10	10:56	11:15	10:30 11:30
1980	55	土	10:50	11:15	10:45	11:15	10:45 11:15
1981	56	日	10:50	11:55	11:00	11:30	11:00 11:55
1982	57	月	10:50	11:55	10:40	11:40	10:55 11:25
1983	58	火	10:45	11:55	10:40	11:40	10:55 11:25
1984	59	水	10:45	11:50	10:40	11:25	10:50 11:30
1985	60	金	10:45	11:55	10:40	12:00	10:40 11:30
1986	61	土	10:45	11:50	10:30	11:45	10:45 11:30
1987	62	日	10:40	11:30	10:30	11:45	10:30 11:30
1988	63	火	10:45	11:30	10:30	11:35	10:45 11:30
1989	平成元	水	10:45	11:30	10:30	11:40	10:40 11:30
1990	2	木	10:45	11:30	10:45	11:40	10:40 11:30
1991	3	金	10:45	11:30	10:30	11:35	10:30 11:30
1992	4	日	10:44	11:40	10:30	11:30	10:45 11:25
1993	5	月	10:44	11:25	10:30	11:30	10:55 11:25
1994	6	火	10:45	11:30	10:30	11:30	11:00 11:25
1995	7	水	10:40	11:55	6:50	11:30	10:40 11:25
1996	8	金	10:45	11:30	10:30	11:30	10:30 11:25
1997	9	土	10:45	11:30	10:30	11:30	10:30 11:25
1998	10	日	10:45	11:30	10:30	11:30	10:30 11:25
1999	11	月	10:45	11:30	10:30	11:30	10:30 11:25
2000	12	水	10:45	11:30	10:30	11:30	10:30 11:25
2001	13	木	10:45	11:30	10:30	11:25	10:30 11:25
2002	14	金	10:45	11:30	10:30	11:25	10:30 11:25
2003	15	土	10:45	11:30	10:30	11:45	10:30 11:30
2004	16	日	10:45	11:30	10:30	11:30	10:30 11:30
2005	17	火	10:40	11:40	10:30	11:30	10:30 11:30
2006	18	水	10:40	11:40	10:30	11:30	10:30 11:30
2007	19	木	10:40	11:40	10:40	11:30	10:30 11:30
2008	20	土	10:38	11:48	10:30	11:54	10:30 11:25
2009	21	日	10:40	11:48	10:30	11:45	10:30 11:25

<表5: 2009年8月9日(日)NBC長崎放送のニュース内容>

番組名	開始	終了	区分	素材
THE NEWS	11:30	11:35	全国	ニュースA
THE NEWS長崎	11:35	12:00	長崎	ニュースA詳細版
THE NEWS	17:30	17:50	全国	ニュースB
報道センターNBC	17:50	18:00	長崎	ニュースC

A:長崎原爆の日「オバマ演説」を支持 式典ダイジェスト
 B:長崎「原爆の日」市長がオバマ演説支持 Aに加えて平和市長会議
 C:64回目長崎原爆の日 Bに加えて首相と被爆者団体面談

<表6: 2009年8月9日(日)KTNテレビ長崎のニュース内容>

番組名	開始	終了	区分	素材
FNNテレビニュース	11:50	11:55	全国	ニュースA
KTNテレビニュース	11:55	12:00	長崎	ニュースB
スーパーニュース	17:30	18:00	全国	ニュースA
スーパーニュース長崎	17:30	18:00	長崎	ニュースC
KTNニュース	21:20	21:24	長崎	ニュースB
FNNニュース	24:10	24:20	全国	ニュースA

A:平和への誓い新たに 式典ダイジェスト
 B:平和を誓い折念式典 今朝6時の平和公園と式典ダイジェスト
 C:折念式典に誓い新た Bに加えて 首相「核の傘」撤回せず

<表7: 中継番組と平和式典の一致度>

2009年8月9日(日)												
	NHK	NBC	KTN	NCC	NIB	式典次第	NHK	NBC	KTN	NCC	NIB	式典次第
シーン数	13	10	12	12	-	9	14	10	8	-	2	14
式典との一致	8	9	8	-	-	2	14	9	8	-	2	14
F measure	0.59	0.75	0.62	-	-	0.17	1	0.59	0.75	0.62	-	0.17
R(再現率)	0.57	0.64	0.57	-	-	0.14	1	0.57	0.64	0.57	-	0.14
P(精度)	0.62	0.90	0.67	-	-	0.22	1	0.62	0.90	0.67	-	0.22
2008年8月9日(土)												
シーン数	12	12	12	9	10	13	13	12	12	9	10	13
式典との一致	9	9	10	7	4	13	13	9	10	7	4	13
F measure	0.72	0.72	0.80	0.64	0.35	1	1	0.72	0.72	0.80	0.64	0.35
R(再現率)	0.69	0.69	0.77	0.54	0.31	1	1	0.69	0.69	0.77	0.54	0.31
P(精度)	0.75	0.75	0.83	0.78	0.40	1	1	0.75	0.75	0.83	0.78	0.40
2007年8月9日(木)												
シーン数	12	10	9	9	10	13	13	12	10	9	9	10
式典との一致	8	9	6	7	1	13	13	8	9	6	7	1
F measure	0.64	0.78	0.55	0.64	0.09	1	1	0.64	0.78	0.55	0.64	0.09
R(再現率)	0.62	0.69	0.46	0.54	0.08	1	1	0.62	0.69	0.46	0.54	0.08
P(精度)	0.67	0.90	0.67	0.78	0.10	1	1	0.67	0.90	0.67	0.78	0.10

<表8: 平和式典特別番組の放送内容 2009年8月9日(日曜日)>

平和祈念式典式次第	予定時刻	テレビ中継の動向	NHK長崎		NBC		KTN		NCC		NIB	
			開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
開式	10時40分		10:40	11:48	10:30	11:30	10:30	11:45	-	-	10:30	11:25
死没者名簿奉安	10時40分				○							
式辞(長崎市議会議長)	10時42分				○							
献水	10時46分				○							
献花	10時48分				○							
黙祷	11時02分	NCC他番組中で全国中継			○							
平和宣言(長崎市長)	11時03分							○字幕				
平和への誓い(被爆者代表)	11時13分							○字幕				
児童合唱	11時18分							○字幕				
来賓挨拶(内閣総理大臣)	11時23分	11時25分NIB終了			○字幕			○字幕				
来賓挨拶(長崎県知事)	11時28分	11時30分NBC終了			○字幕			○字幕				
来賓挨拶(国連総会議長)	11時33分				○通訳			○字幕				
千羽鶴合唱	11時38分				○字幕							
閉式	11時43分											

<表9: 平和式典特別番組の放送内容 2008年8月9日(土曜日)>

平和祈念式典次第	予定時刻	テレビ中継の動向	NHK長崎		NBC		KTN		NCC		NIB	
			開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
開式	10時40分		10:39	11:48	10:30	11:54	10:30	11:40	10:45	11:40	10:35	11:25
死没者名簿奉安	10時40分						○	○				
式辞(長崎市議会議長)	10時42分	10時45分NCC開始			○							
献水	10時46分						○	○				
献花	10時48分	10時50分-55分NBC中断				○後半			○前半			
黙祷	11時02分											
平和宣言(長崎市長)	11時03分											
平和への誓い(被爆者代表)	11時13分											
児童合唱	11時18分		字幕		字幕					字幕		字幕
来賓挨拶(内閣総理大臣)	11時23分	11時25分NIB終了										
来賓挨拶(長崎県知事)	11時28分											
千羽鶴合唱	11時33分		○	字幕		字幕						
閉式	11時38分											

<表10: 平和式典特別番組の放送内容 2007年8月9日(木曜日)>

平和祈念式典次第	予定時刻	テレビ中継の動向	NHK長崎		NBC		KTN		NCC		NIB	
			開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
開式	10時40分		10:40	11:40	10:40	11:30	9:55	11:25	10:45	11:40	10:30	11:30
死没者名簿奉安	10時40分				○		○					
式辞(長崎市議会議長)	10時42分	10時45分NCC開始			○							
献水	10時46分				○							
献花	10時48分				○							
黙祷	11時02分				○							
平和宣言(長崎市長)	11時03分											
平和への誓い(被爆者代表)	11時13分											
児童合唱	11時18分		字幕		○	字幕				字幕		字幕
来賓挨拶(内閣総理大臣)	11時23分	11時25分KTN終了			○							
来賓挨拶(長崎県知事)	11時28分	11時30分NBC、NIB終了	○									
千羽鶴合唱	11時33分		○	字幕								
閉式	11時38分											

<表14: 2009年10月7日曜日の放送状況>

時刻	NHK総合	NBC	KTN	NCC	NIB
18:00					
6:54					
6:55					
18:01					
18:02					
18:03					
18:04					
18:05					
18:06					
18:07					
7:00					
7:01					
7:02					
7:03					
7:04					
7:05					
7:06					
7:07					
7:08					
7:09					
7:10					
7:11					
7:12					
7:13					
7:14					
7:15					
7:16					
7:17					
7:18					
7:19					
7:20					
7:21					
7:22					
7:23					
7:24					
7:25					
7:26					
7:27					
7:28					
7:29					
7:30					
7:31					
7:32					
7:33					
7:34					
7:35					
7:36					
7:37					
7:38					
7:39					
7:40					
7:41					
7:42					
7:43					
7:44					
7:45					

<表13: 2009年10月7日朝の放送状況>

時刻	NHK教育	NBC	KTN	NCC	NIB
6:54					
6:55					
6:56					
6:57					
6:58					
6:59					
7:00					
7:01					
7:02					
7:03					
7:04					
7:05					
7:06					
7:07					
7:08					
7:09					
7:10					
7:11					
7:12					
7:13					
7:14					
7:15					
7:16					
7:17					
7:18					
7:19					
7:20					
7:21					
7:22					
7:23					
7:24					
7:25					
7:26					
7:27					
7:28					
7:29					
7:30					
7:31					
7:32					
7:33					
7:34					
7:35					
7:36					
7:37					
7:38					
7:39					
7:40					
7:41					
7:42					
7:43					
7:44					
7:45					

<表15: 生中継以外の長崎くんち特別番組>

放送局	月日	開始	終了	番組名
NHK	10月6日	19:30	20:45	長崎くんちハイライト
NBC	10月7日	10:20	11:00	長崎ダイジェスト
KTN	10月11日	14:00	14:55	もっちゃん長崎くんち
NCC	10月7日	15:00	16:53	長崎祭り披露舞
NIB	10月7日	16:53	18:50	2009くんちスペシャル

<表11: 長崎くんち中継番組放送時間の推移>

西暦	元号	日曜	NHK長崎 (1958.12.23)	開始	終了	NCC長崎放送 (1990.4.1)	開始	終了	NIB長崎国際放送 (1991.4.1)	開始	終了
1962	昭和37	7日	9:00	7:00	8:50						
1963	38	7月	9:00	7:00	8:50						
1964	39	7月	6:45	7:00	10:00						
1965	40	7月	6:45	7:00	8:30						
1966	41	7月	6:45	7:00	8:30						
1967	42	7月	6:45	7:00	8:30						
1968	43	7月	6:45	7:00	8:30						
1969	44	7月	6:45	7:00	8:30						
1970	45	7月	6:45	7:00	8:30						
1971	46	7月	6:45	7:00	8:30						
1972	47	7月	6:45	7:00	8:30						
1973	48	7月	6:45	7:00	8:30						
1974	49	7月	6:45	7:00	8:30						
1975	50	8月	7:20	7:35	7:00	8:30	10:30	11:00			
1976	51	7月	7:20	7:35	7:00	8:30	11:00	11:40			
1977	52	7月	7:20	7:35	7:00	8:30					
1978	53	7月	7:20	7:35	7:00	8:30					
1979	54	7月	7:15	8:00	7:00	10:00					
1979	54	7月	7:15	8:00	7:00	10:00					
1980	55	8月	7:30	8:15	6:45	8:30	7:00	8:00			
1981	56	9月	7:30	8:15	6:50	8:30	10:00	10:30			
1982	57	7月	7:30	8:15	6:50	8:30	10:00	10:40			
1983	58	7月	7:55	8:15	7:00	10:40	7:00	8:30			
1984	59	8月	7:05	18:00	14:30	16:00					
1985	60	7月	7:55	8:15	7:00	10:55	7:00	8:30			
1986	61	7月	7:30	8:15	6:50	10:35	7:00	10:30			
1987	62	7月	7:35	10:00	7:00	10:25	7:00	10:40			
1988	63	7月	7:30	10:30	7:00	8:55					
1989	平成元	7月	7:30	10:30	7:00	8:55					
1990	2	8月	7:30	11:30	7:00	9:55					
1991	3	7月	7:40	10:30	7:00	9:55					
1992	4	7月	7:30	10:30	7:00	9:55					
1993	5	8月	7:30	11:30	7:00	10:30	7:00	8:30	6:50	10:25	
1994	6	7月	7:30	11:55	6:50	11:25	6:55	11:00	7:00	8:30	
1995	7	7月	7:00	10:00	6:55	10:50	6:55	11:00	7:00	8:30	
1996	8	7月	7:00	10:00	6:55	10:50	6:55	11:00	7:00	8:30	
1997	9	7月	7:00	11:00	6:42	11:30	6:55	11:30	8:30	11:35	
1998	10	7月	7:00	10:00	6:58	10:50	6:55	10:55	8:45	8:00	
1999	11	7月	7:00	10:00	7:00	10:50	6:55	10:55	8:00	8:00	
2000	12	7月	7:00	10:50	6:45	11:25					
2001	13	7月	7:45	10:00	7:00	10:30					
2002	14	7月	7:10	10:00	7:00	10:50	6:55	10:55	6:45	8:00	
2003	15	7月	7:10	10:30	7:00	10:50	6:55	10:55	6:25	8:00	
2004	16	7月	7:10	10:30	7:00	11:00	6:55	11:30	6:25	8:00	
2005	17	7月	6:55	10:20	7:00	11:00	6:55	11:00	6:25	11:00	
2006	18	7月	6:55	10:20	7:00	10:30	7:00	11:00			
2007	19	7月	6:50	11:00	7:00	11:00	8:00	11:40			
2008	20	7月	6:55	10:45	6:54	10:50	6:55	10:55	6:25	8:00	
2009	21	7月	6:55	10:30	6:54	10:20	6:55	10:55	6:25	8:00	

<表12: 長崎くんち生中継番組の占有率>

放送局	NHK長崎	NEC長崎放送	KTNテレビ長崎	NCC長崎文化放送	NIB長崎国際放送
生中継時間(単位:分)	215	206	155	95	0
総放送時間(単位:分)	1372	1303	1305	1258	1304
2009年占有率	15.67%	15.81%	11.88%	7.55%	0.00%
2008年占有率	18.90%	18.21%	11.83%	7.08%	0.60%
2007年占有率	20.73%	18.93%	11.85%	0.00%	0.00%

<表16:2008年11月24日 列福式中継>

	NHK	NBC	KTN	NIB	NCC
12:00					
12:30					
13:00					
13:30					
14:00					
14:30					
15:00					
15:30					
16:00					
16:30					
17:00					
17:30					
18:00					
18:30	県内NEWS	県内NEWS	県内NEWS	県内NEWS	県内NEWS
19:00	全国NEWS				
19:30					
20:00					
20:30	県内NEWS		県内NEWS		
21:00	全国NEWS				
21:30					
22:00					
22:30					
23:00		全国NEWS			
23:30		県内NEWS			
0:00					
0:30			県内NEWS		